

国民年金特別会計 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	6,861	6,057	△803	未払金等	399	374	△25
運用寄託金	5,119	5,237	117	公的年金預り金	10,498	10,107	△390
未収金等	4,732	4,642	△90	退職給付引当金	56	55	△1
貸倒引当金	△1,589	△1,435	153	その他	2	2	0
有形固定資産	118	25	△92	負債合計	10,956	10,540	△416
うち国有財産 (公共用財産を除く)	116	24	△90	< 資産・負債差額の部 >			
その他	36	261	225	資産・負債差額	4,322	4,248	△73
資産合計	15,279	14,788	△490	負債及び資産・負債差額合計	15,279	14,788	△490

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	4,777	4,322	△455
本年度業務費用合計(A)	△17,228	△18,226	△997
財源(B)	17,155	17,819	663
公的年金預り金の変動に伴う増減	△379	390	769
その他	△2	△56	△53
本年度末資産・負債差額	4,322	4,248	△73

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	1,395	1,325	△69
財務収支	—	—	—
本年度収支	1,395	1,325	△69
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等	162	93	△68
資金残高等	5,303	4,638	△665
本年度末現金・預金残高	72,921	56,635	△16,286

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
人件費等	45	48	2
基礎年金給付費	11,811	12,638	826
国民年金給付費	2,065	1,929	△136
厚生保険特別会計年金勘定への繰入	1,604	1,945	341
委託費等	621	655	33
貸倒引当金繰入額	963	891	△71
その他	116	117	1
本年度業務費用合計	17,228	18,226	997

平成17年度について

資産合計は4,902億円の減少、負債合計は4,166億円の減少、資産・負債差額は736億円の悪化、業務費用は9,978億円の増加となりました。資産合計の減少の主な要因は現金・預金の減8,035億円及び貸倒引当金の減1,537億円であります。負債合計の減少の主な要因は公的年金預り金の減3,903億円であります。資産・負債差額の悪化の主な要因は、業務費用合計と財源の差額△4,074億円及び公的年金預り金の変動に伴う増7,694億円であります。業務費用の増加の主な要因は、基礎年金給付費の増8,268億円及び厚生保険特別会計年金勘定への繰入の増3,410億円であります。

留意点

主な増減内容

- 貸借対照表
(資産)
現金・預金…国民年金勘定△6,699億円、基礎年金勘定△1,347億円
運用寄託金…国民年金勘定+1,176億円
貸倒引当金…国民年金勘定△1,536億円
出資金…年金資金運用基金+1,920億円
(負債)
公的年金預り金…国民年金勘定△3,903億円
- 業務費用計算書
基礎年金給付費…基礎年金勘定+8,268億円
国民年金給付費…国民年金勘定△1,360億円
厚生保険特別会計年金勘定への繰入+3,410億円
- 資産・負債差額増減計算書
公的年金預り金の変動に伴う増減 +7,694億円
本年度業務費用合計と財源合計との差額 △4,074億円
(上記(A)+(B)により算出)⇒企業会計の「当期純損失」に相当
- 区分別収支計算書
業務収支…資金からの受入+4,538億円、他会計からの受入+6,758億円、基礎年金給付費の減△8,268億円、国民年金給付費△1,360億円、厚生保険特別会計年金勘定への繰入△3,413億円、出資による支出△1,995億円